

(別添資料1)

事業所名

児童発達支援・放課後等デイサービスKnop

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

令和8

年

7月

1日

法人（事業所）理念		北欧の日常生活の中のお茶の時間のように生活を豊かにし、居心地の良い時間を提供できるような支援空間を目指す。					
支援方針		手先が不器用だったり、日常生活にお困りがあるお子様に対して、作業療法士などの専門職が感覚統合や運動療育などを取り入れ個別療育を行います。また、SST、コグトレ、ビジョントレーニング、学習支援などを行い必要なスキルの獲得を目指します。 ひとりのお子様に対して「1対1」で関わり、お子様ひとりひとりの発達特性、認知特性を丁寧にアセスメントして、オーダーメイドの支援内容を提供します。					
営業時間		9 時	30 分から	18 時	30 分まで	送迎実施の有無	ありなし
		支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	・健康状態の維持と予防…通所時の検温、手指消毒等 ・基本的な生活スキルの獲得…LST、片付け等 ・生活におけるマネジメントスキル…時間的感覚の取得（時計の読み方等）、1週間の振り返り等					
	運動・感覚	・姿勢と運動・動作の基本的技能の向上…体幹・ボディイメージの強化（サーキットトレーニング、トランポリン、動物歩き、コグトレ等）、シーティングによる姿勢の修正等 ・保有する感覚の活用…手指の分離運動（手の体操、洗濯ばさみ、ビー玉プットイン、輪ゴムパターンボード等）、跳躍性眼球運動（点描写、模写等）、追従性眼球運動（目の体操、ビー玉キャッチ等）					
	認知・行動	・認知特性について理解と対応…カレンダーチェック、数の概念形成（数と量の一致、数並べ等）、指示理解課題（非言語コミュニケーション、絵カードを使用した応答等） ・対象や外部環境の適切な行動習慣…通所持の時間枠での切り替え、物の感覚・認知形成（ねんど遊び、スライム遊び等）、空間把握・操作・認知（積み木遊び等）					
	言語 コミュニケーション	・コミュニケーションの基礎的能力の向上…ヘルプスキルや自己表現の獲得、抽象・具体の操作（ヒントクイズ、連想クイズ等） ・状況に応じたコミュニケーション…T.P.O等に関する言葉のリフレームSST、論理・時系列に沿って他者へ説明（お話作り絵カード、セリフ作り等）					
	人間関係 社会性	・情緒の安定…アタッチメント形成（対話、面談課題） ・他社とのかかわり形成…SST、自由遊び（連合遊び、ごっこ遊び等）、勝ち負け葛藤課題（勝敗のあるゲーム課題等）、ルールの共有と理解（順番交代、ルール性のあるゲーム等）、遊びを通じた社会性の発達（ごっこ遊び等）					
家族支援		・個別療育後の振り返り、助言 ・保護者様からの相談に対する相談援助				移行支援	・進学・卒業後を見据えての準備 ・学校・相談支援事業所等との連携
地域支援・地域連携		・学校・相談支援事業所等との連携 ・必要に応じて関係機関と情報共有を行う				職員の質の向上	・事業所内研修の定期的な開催 ・事業所外研修への参加 ・キャリアアップのための資格取得の促進
主な行事等		・個別療育の提供以外に、季節に合わせた小集団療育や就学前の利用者様を対象とした小集団活動も行う。 ・保護者様対象の相談会や座談会、レスパイトイベントなどを開く。					